

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

令和5年  
12月20日

NO. 131

SAIAI CLUB SAITAMA

# 彩愛クラブ埼玉



発行人 ▶ 内田まさ子

発行所 ▶ 公益財団法人 埼玉県老人クラブ連合会 〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65

tel 048-822-7330 fax 048-822-7377

印刷 ▶ 関東図書株式会社 〒336-0021 さいたま市南区別所 3-1-10 tel 048-862-2901 fax 048-862-2908

埼玉県老人クラブ連合会

検索



# 令和五年度第二回理事会

令和五年九月一日（金）、彩の国すこやかプラザにおいて第二回理事会を開催しました。

出席者は理事十五名、監事一名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

会長 内田まさ子

監事 山路孝

◆第一号議案「県老連事業担当理事の追加について」

原案のとおり承認されました。

追加事業名

「県老連会員増強PR（健康体操）DVD作成」

（内容）

令和四年度・五年度「一単位クラブ純増二名プラン」を実施。

市区町村老連のアンケート結果より、健康づくりでの会員増強は一番推進しやすく会員を惹き

付けることが出来る。今まで、発行した田中先生の体操図解の冊子（彩愛クラブ埼玉の通常号及びタブロイド判）は特に会員から要望と活用が多く、DVD作成で、更なる健康づくりでの会員増強を目指す。

（担当理事）

小林松十郎副会長

納美恵子理事

## 現状の役割分担

会員増強運動

小林松十郎副会長

品川惣壽副会長

友愛活動

小林松十郎副会長

玉水きみ子副会長

シルバースポーツ大会

藤野銀三副会長

埼玉県老人クラブ大会

品川惣壽副会長

谷合傳治副会長

会計及び事業精査

山路孝監事

清水絹代監事

基本財産や事業全般総括

内田まさ子会長

◆第二号議案「会員増強の手引きを活用 年間一単位クラブ純増二名プラン」の推進方法について

原案のとおり承認されました。

◆第三号議案「年間一単位クラブ純増二名プラン」達成クラブの表彰について」

令和四年度の実績で、純増二名

達成単位クラブ及び連合会を令和

五年度埼玉県老人クラブ大会で表

彰する。

令和五年度の実績で、純増二名

達成単位クラブ及び連合会を令和

六年度埼玉県老人クラブ大会で表

彰する。

以上の二点が承認された。

◆第四号議案「令和五年度埼玉県

老人クラブ大会・指導者研修会のアトラクションの内容について」

原案のとおり承認されました。

※内容については

（出演団体）

さいたま市老人クラブ連合会

川越市老人クラブ連合会

川口市老人クラブ連合会

◆第五号議案「令和六年度皇室カレンダールの斡旋について」

原案のとおり承認されました。

・販売業者 本多観光

・価格 千百円（税込み）

・送料 一本〳四本 五百円

五本〳九本 千円

十本以上 五百円

◆報告事項

①シルバースポーツ大会について

②県老連非常勤職員について

# 令和五年度第三回理事会

令和五年十二月八日（金）、東天紅JACK大宮店において第三回理事会が開催されました。出席者は理事十五名、監事二名で概要は次のとおりです。

議事録署名人  
 会長 内田まさ子  
 監事 清水絹代  
 監事 山路 孝

◆第一号議案「令和六年四月一日からの新事務局長の就任について」  
 原案のとおり承認されました。新事務局長 石山英雄氏（現埼玉県社会福祉協議会次長）

◆第二号議案「令和五年度県連会長表彰被表彰者等の選考について」  
 原案のとおり承認されました。

◆第三号議案「令和五年度埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会について」

原案のとおり承認されました。（担当 役割）  
 司会…玉水きみ子副会長  
 開会の言葉…品川惣壽副会長  
 閉会の言葉…小林松十郎副会長

◆第四号議案「令和六年度事業骨子について」  
 原案のとおり承認されました。（重点目標）

- ・冊子二〇二〇彩愛クラブ埼玉「電話等による友愛活動マニュアル」、冊子「会員増強の手引き」の活用
- ・「年間一単位クラブ純増二名プラン」の推進、県老人クラブ連合会の組織化の推進
- ・健康の維持・向上、生きがいづくり、介護予防活動の推進
- ・自主性・主体性の高い老人クラブづくりと老人クラブリーダーの育成指導
- ・市町村老人クラブ連合会の組織強化の推進・事務局との連携
- ・地域（子ども）見守りパトロール活動、防犯活動の強化

- ・高齢者に対する交通安全についての啓発活動の推進
- ・新地域支援事業への参画の推進

◆報告事項  
 会員増強委員会の今後と基金の増強等について。  
 令和五年度・六年度の主要事業等の報告がありました。

## 〈忘年会〉

昨年と同じ東天紅JACK大宮店にて、二回目の「令和五年度の忘年会」が実施されました。参加者は、会長・副会長・理事・評議員・監事・女性委員会委員・会員増強推進委員会・広報委員会委員・事務局の面々が集い、楽しい懇親の場となりました。

内田まさ子会長の力強く、やさしいねぎらいの挨拶が始まりました。9月に開催されたスポーツ大会や、広報誌の発行等、県老連事業に対する支援に感謝し、三月十四日に開催される埼玉県老人クラブ大会の大成功を勝ちとうろうとのお言葉でした。

玉水副会長の乾杯の後、活発な自己紹介で笑顔があふれていました。

今年度から、この交流が永遠に続き、様々な困難をも打開する場となるようがんばろう！

事務局長 落合 一弘



# 令和5年 シルバースポーツ大会



前日夕方からの豪雨は21日明け方からすっきりの快晴の中で盛大に開催されました。開会式では、県副知事堀光敦史氏、県老連会長内田まさ子氏、県議会議長立石泰広氏、熊谷市長小林哲也氏、県議会議員田並尚明氏の方々から激励のお言葉をいただきました。競技種目は、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ソフトテニス、ペタンク、ワナゲ、マグダーツの6種目です。出場の選手や応援の方々、朝8時からの受付開始前から集まり、参加総数は1300人を越えました。県内全域からの参加です。日の出のころから数時間かけての来場となります。とても、ありがたい事です。

## ●ペタンクの部

参加チーム数：18 参加者数：60  
 優勝：石原長生会（秩父市荒川支部）  
 準優勝：東町（秩父市秩父支部）  
 第3位：堀兼（狭山市）  
 第3位：河原悠々クラブ（狭山市）



## ●マグダーツの部

参加チーム数：30 参加者数：90  
 優勝：深谷D（深谷市）  
 準優勝：第2亀鶴会（さいたま市西区）  
 第3位：さしまスローライフE（川口市）



## ●ソフトテニスの部

参加チーム数：26 参加者数：52  
 優勝：代 勝己・関根英美子（熊谷市）  
 準優勝：田邊正男・宇野徹夫（熊谷市）  
 第3位：内田久夫・市川 睦（深谷市）  
 第3位：東野良次・西村悦子（久喜市）



## ●ワナゲの部

参加チーム数：69 参加者数：207  
 優勝：下高柳福寿会（加須市加須地域）  
 準優勝：深谷市A（深谷市）  
 第3位：佐谷田輪投クラブAチーム（熊谷市熊谷）



# 2023年9月21日（熊谷スポーツ文化公園にて）



## ●グラウンド・ゴルフの部

参加チーム数：91 参加者数：364  
 <団体戦>  
 優勝：伊奈町長寿クラブ連合会C（伊奈町）  
 準優勝：さい大宮A（さいたま市西区）  
 第3位：深谷C（深谷市）  
 <個人戦>  
 優勝：菅沼 政子（加須市）30点  
 準優勝：清水 廣一（さいたま市北区）30点  
 第3位：今井 功（深谷市）30点



## ●ゲートボールの部

参加チーム数：24 参加者数：144  
 優勝：おがの（小鹿野町）  
 準優勝：手子林（羽生市）  
 第3位：かすみそう（川口市）



主管団体のみなさまには、大会開催にあたり、事前の打ち合わせ・大会前日からの設営・当日の競技運営までご協力いただき、誠にありがとうございました。



埼玉県ゲートボール連盟  
審判長 三友淑子氏



埼玉県グラウンド・ゴルフ協会  
会長 野川 保氏



埼玉県ペタンク・ブル連盟  
会長 井上勇司氏



埼玉県ブリヂナソフトテニス愛好会  
会長 井上浪江氏



（ワナゲ担当）  
NPO法人フレンドリー  
情報センター理事  
西尾和久氏



（マグダーツ担当）  
永富敏男氏



埼玉県レクリエーション協会  
畑山清彦氏



春日部健康体操クラブ代表  
田中道子氏

131号  
特集

# 「単位老人クラブ・コロナ

# 禍での活動実態調査」について

埼玉県老人クラブ連合会は令和4年7月～12月の6か月間、2,200単位老人クラブを対象にコロナ禍での活動状態について実態調査を行い、回答を得た1,585クラブの活動等について解析を

行いました。本実態調査の解析はさいたま市高齢福祉課の皆様にお願ひしました。ご支援に感謝申し上げます、実態調査の結果についてご報告いたします。

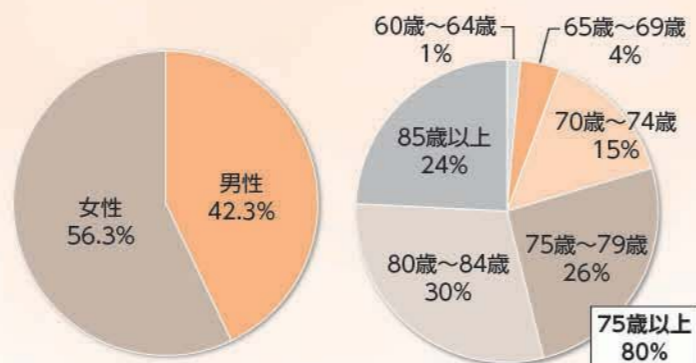
## 調査の概要

●目的：コロナ禍で老人クラブ活動が自粛を余儀なくされ、会員が減少し、老人クラブの存続が困難な状況にある中、また、設立60周年記念を迎えた中、改めて老人クラブの存在意義や定義、活動内容の見直し等検討する機会となるよう、アンケート調査を実施する。

●調査対象：埼玉県老人クラブ連合会に加入する単位老人クラブ(2,200クラブ)  
●調査実施時期：令和4年7月から12月  
●調査方法：埼玉県老人クラブ連合会から市区町村老人クラブ連合会を通じて単位老人クラブへのアンケート調査を実施し、1,585クラブから回答を得た。(回答率72%)

## ① 老人クラブの状況

●会員の男女別の割合は、男性42.3%、女性56.3%となっており、女性会員が若干多くなっている。【図1】  
●年齢別に見ると、80歳～84歳が最も多く、75歳以上が全体の80%を占めている。一方で、60代は5%となっている。【図2】



【図1】会員の性別

【図2】会員の年齢

本アンケートの結果、会員の性別は、女性が男性より14%多いことが分かりました。  
また、会員の年齢は、75歳超が全体の80%を占め、その内80歳超は54%を占めています。  
単位老人クラブの役員・会員の高齢化は際立っており、このことがクラブ運営・継承の大きな妨げになっているようです。

## ② 老人クラブの状況

●老人クラブが実施している活動で最も多いのは、地域行事への参加(1,237クラブ)で、次いで清掃活動(1,215クラブ)、新年会や忘年会の実施(1,204クラブ)となっている。【図3】  
●友愛活動(声掛け活動)は、807クラブ(回答全体の51%のクラブ)が実施している。

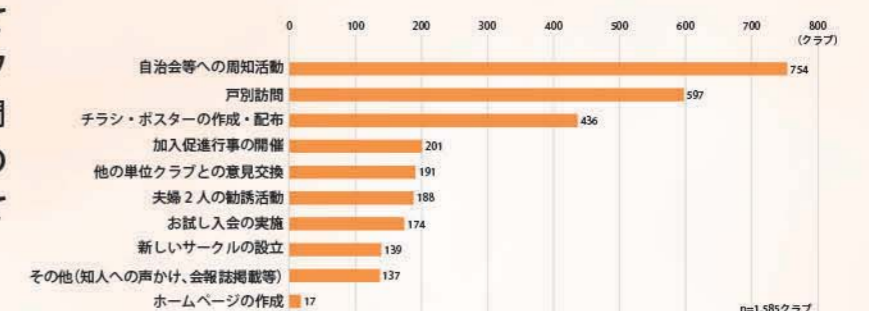


※複数回答可

クラブ活動は、コロナ禍にも拘わらず、多く会員が参加する地域行事・清掃活動を実施していただきました。  
また、「会員に人気の高い新年会・忘年会、クラブ活動の根幹でもある友愛活動、安否・声掛け活動」等にも多くの労力を割いており、県老連としては頭が下がります。

## ③ 会員増強のための活動

●会員増強のための活動については、自治会等への周知活動(754クラブ)が最も多く、次いで戸別訪問(597クラブ)、チラシ・ポスターの作成や配布(436クラブ)となっている。【図5】



※複数回答可

【図5】会員増強のための活動

単位老人クラブはコロナ禍にも拘わらず、会員増強に向けて多彩な活動を展開していることが分かります。  
活動項目を見ると、県老連が提唱した多くの活動が含まれていました。ご協力クラブの皆様、ありがとうございます。

131号  
特集

# 「単位老人クラブ・コロナ

# 禍での活動実態調査」について

## 4 新型コロナウイルス感染症の影響について

- 新型コロナウイルス感染症の影響により自粛している活動については、新年会や忘年会、親睦旅行といった人が集まるイベントを自粛している。
- 一方、友愛活動、地域の見守り活動、声掛け活動などは、自粛しているクラブが少ないことから、コロナ禍においても多くの老人クラブで活動を継続している。【図6】

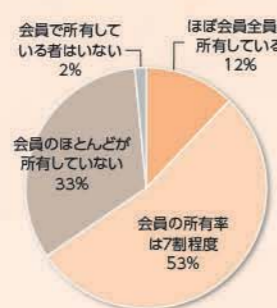


【図6】新型コロナウイルス感染症により自粛している活動

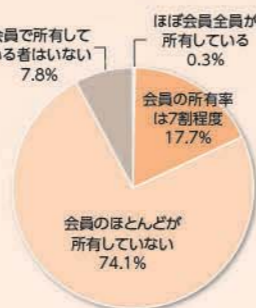
多くのクラブは、コロナ感染防止のため「会員が多数参加する事業は中止」しています。本設問4は設問2と対極にあり、クラブ役員が事業実施の是非について大いに迷われたと考えております。

## 5 デジタル機器の所有状況について

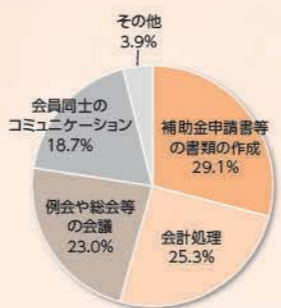
- スマートフォンの所有状況は、会員の7割以上が所有しているクラブが全体の65%を占めている。【図7】
- 一方、パソコンの所有状況は、会員のほとんどが所有していない。【図8】
- デジタル機器の活用状況については、補助金の申請書類の作成や会計処理などの事務作業が全体の半数以上を占めており、その他、会議のオンライン化、会員同士のコミュニケーションツールとして使用している。【図9】



【図7】スマートフォンの所有状況



【図8】パソコンの所有状況



【図9】デジタル機器の活用状況

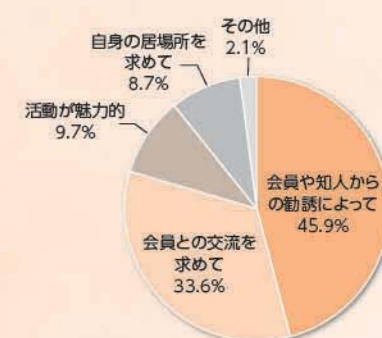
調査結果をみると、「パソコンの所有は少なく、スマートフォンは70%以上の会員が所持」していました。老人クラブの情報伝達については、本調査結果を参考にすべきと考えます。

## 6 会員の入会の状況

- 令和3年度の新規入会者数は3,201人で、令和2年度と比較すると約500人増加している。【図10】
- 入会に至った主な理由としては、会員や知人からの勧誘(45.9%)が最も多く、次いで会員との交流(33.6%)、活動が魅力的(9.7%)となっている。【図11】



【図10】直近3年間の新規入会者数



【図11】入会の主な理由

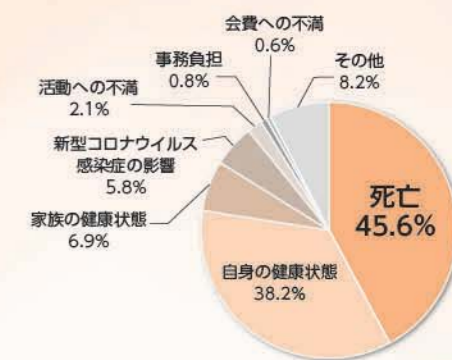
新規入会者数は、「令和2年度の500人に比べ、令和3年度は3,201人に増加」しています。然し、令和3年度末・県老連の調査では「会員数は約10,000人減」となっており、コロナ感染者の激増期以降は状況が激変したことがわかります。

## 7 会員の退会の状況

- 令和3年度の新規入会者数は3,201人で、退会者数は5,894人となっており、退会者数の方が1.8倍多くなっている。【図12】
- 退会に至った主な理由としては、死亡(45.6%)が最も多く、次いで自身の健康状態(38.2%)となっている。【図13】
- 新型コロナウイルス感染症の影響による退会は全体の5.8%となっている。【図13】



【図12】会員の入・退会者数(R3年度)



【図13】退会の主な理由

会員の退会者は、令和3年度は5,894人、新規入会者は3,201人となっています。また、退会の理由は、死亡45.6%、健康状態38.2%と、両者で83.8%となっています。これは退会というより、会員の寿命を超えた自然減とすべきで、設問1の年齢「75歳超:80%」を見ると明確です。単位老人クラブの体質改善「役員・会員の若返り、クラブ継承」についての天からの警告と受け止めるべき、かもしれません。75歳未満は20%しかいないのですから。

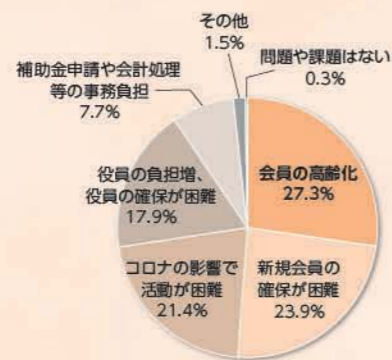
131号  
特集

# 「単位老人クラブ・コロナ

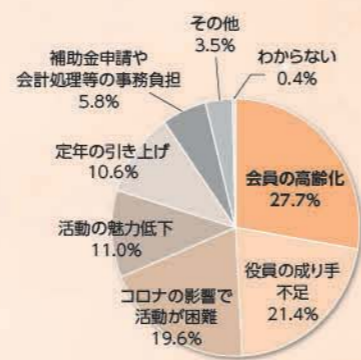
# 禍での活動実態調査」について

## 8 老人クラブが抱えている問題・課題

- 老人クラブが抱えている問題と課題としては、会員の高齢化（27.3%）が最も多く、次いで新規会員の確保が困難（23.9%）、コロナの影響で活動が困難（21.4%）、役員（会長など）の負担増、役員の確保が困難（17.9%）となっている。【図14】
- また会員の高齢化や役員の担い手不足は、老人クラブが減少している原因になっている。【図15】
- 役員負担増やその担い手の確保が困難な背景には、会員の高齢化によって、会計処理等の事務ができる者がいない、または、今はその者がいても後継者がいないという問題がある。アンケートの回答の中には、会長1人に事務処理が集中しており、後継者が見つからなければ解散の他ないといった声もある。



【図14】老人クラブが抱える問題や課題



【図15】老人クラブが減少している原因

「老人クラブが抱える問題や課題」では、会員の高齢化は27.3%で、次に新規会員の減少、コロナの影響、役員負担増と続きます。また「クラブ減少の理由」では、会員の高齢化27.7%に続き、役員のなり手不足、コロナの影響、クラブの魅力低下等となっています。

これらの問題は、永遠の課題であり、出口は見いだせず、残念ながら良薬はありません。

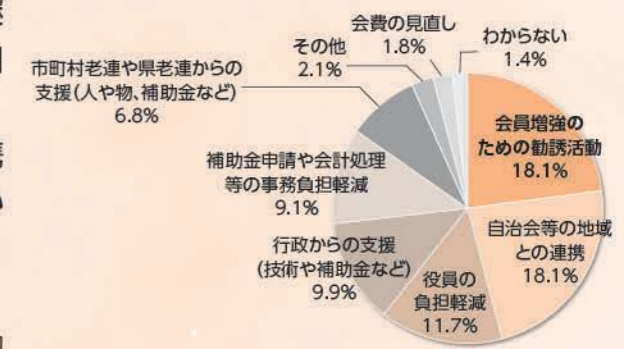


## 9 老人クラブ活動の継続のために必要なこと

- 老人クラブ数・会員数が減少していく中で活動を継続していくために何が必要と考えているかという問いに対して、会員増強のための勧誘活動（18.1%）が最も多く、次いで自治会等の地域との連携（18.1%）、役員負担軽減（11.7%）となっている。【図16】

この回答で上位を占めているのは、「会員増強のため勧誘活動・自治会等の地域との連携」がそれぞれ18.1%で、36.2%を占めています。

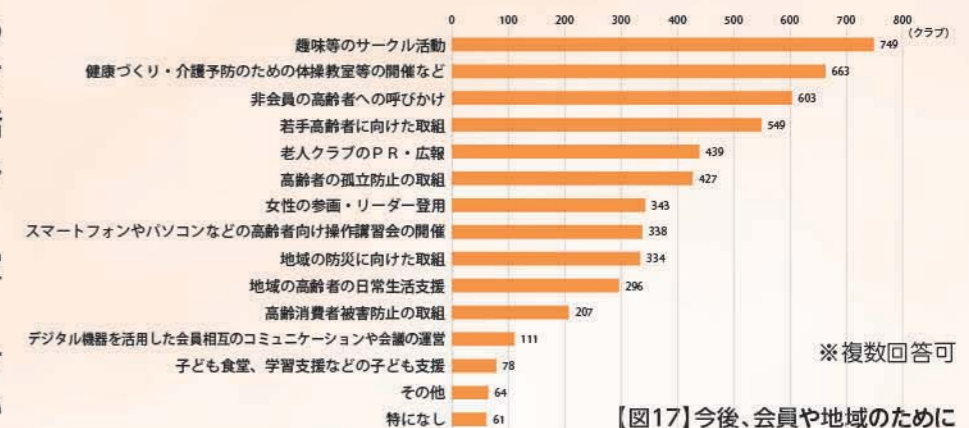
しかしそれ以外は、「行政から支援・事務負担等の軽減・市町村老連等からの支援」等と、他者から老人クラブへの支援要請です。自力でのクラブ運営に支障をきたしているようです。



【図16】老人クラブ活動の継続のために必要なこと

## 10 今後、実施したい活動

- 今後、会員や地域のために実施したい活動としては、趣味等のサークル活動（749クラブ）が最も多く、次いで、健康づくり・介護予防のための体操教室等の開催（663クラブ）、非会員の高齢者の呼びかけ（603クラブ）となっている。【図17】
- 会員間の活動以外にも、高齢者の孤立防止の取組（427クラブ）や地域の防災に向けた取組（334クラブ）といったように、地域活動の実施についても活動の意欲を伺うことができる。



【図17】今後、会員や地域のために実施したい活動

回答で上位を占めている活動は、いずれも老人クラブの通常の活動で、素晴らしいものと考えています。一方、そのためには若い方々にクラブに入会願ひ、それらの方々のご協力が必要となります。そのためには、単位老人クラブが魅力あるクラブへの改革が必要と考えます。

令和5年度

## 新任単位クラブ会長研修会

◆県老連は8月23日(水)、彩の国すこやかプラザに於いて「令和5年度新任単位クラブ会長研修会」を開催した。

研修会は、新任単位クラブ会長など80余名の参加を得て、次の通り実施され、成功裏に修了した。

①講演「魅力ある老人クラブとは」  
講師 県老連 主幹 椎名久美子氏

②「公式ワナゲ講習会」

特定非営利活動法人

フレンドリー情報センター

理事 西尾和久氏

なお、研修会等の詳細は次の通りです。



◆「開会のことば・主催者挨拶」

玉水きみ子県老連副会長の開会の言葉があり、次いで主催者を代表し、内田まさ子県老連会長より次の挨拶があった。

「新任単位クラブ会長に於かれましては、ご多忙にも拘らず猛暑の中、本研修会にご参加を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、老人クラブはこの3年間、新型コロナウイルス感染症拡大により甚大な被害を蒙りました。そんな中、県老連は会員各位のご協力を得て純増2名プランを実施してきました。私も単位老人クラブ会長の一人として目標を達成しました。

そして今、コロナ規制の大幅緩和を期に、本研修会を開催致しました。新会長の皆様に於かれましては、この研修会の成果を活用し、クラブ運営・会員増強活動等に是非、取り組んで頂きたい。」



1. 講演 演：魅力ある老人クラブとは  
椎名久美子主幹より、「魅力ある老人クラブ」等をテーマに約1時間、次の講演がありました。



(1) 「埼玉県老人クラブ実態調査(結果報告)」について

アンケート調査(令和4年7月～12月)に回答された1,585単位老人クラブの結果報告(解析：県・高齢福祉課)です。

①会員の性別…男性42・3%、女性56・3%

②会員の年齢別構成比

60～69歳 5%、70～74歳 15%  
75歳以上 80%

③老人クラブの活動(n：1,585)

1位 地域行事への参加 1,237  
2位 清掃活動 1,215  
3位 新年会・忘年会 1,204  
友愛活動 807(51%)

④会員増強の手段(n：1,585)

1位 自治会等への周知活動 754  
2位 戸別訪問 597  
3位 チラシ・ポスター制作、配布 436

⑤デジタル機器の所有

パソコン 会員のほとんどが所有なし  
スマートフォン 会員の70%以上が所有

⑥入会の理由

会員、知人の勧誘 45・9%  
会員との交流 33・6%  
活動が魅力 9・7%

⑦会員の退会理由

死亡 45・6%  
自身、家族の健康状態 45・1%  
コロナ感染症の影響 5・8%

\*以下は、調査結果をご参照下さい。

(2) 「老人クラブリーダー必携、会





員増強の手引き、年間1単位クラブ純増2名プラン」を基にした講演です。

①リーダー必携は「老人クラブの組織・運営・活動・実践提案・歩み」を構成とする内容で、新任単位クラブ会長にとって最重要の参考書です。  
新任会長は、本書を熟読の上、

老人クラブの運営、会員増強等に当たって欲しい。

②会員増強の手引きは、コロナ下で減少した会員の回復・増強を図るため、県老連が本書を作成し、各老連・単位クラブに配布しました。

③純増2名プランは、会員増強の手引きを基に作成した冊子で、令和4年度～5年度に市区町村老連・単位クラブが主体となり会員増強運動を展開しました。皆様のご協力を賜りながら、本年度も「声かけⅡ勧誘」を通じ、会員増強運動を推進致します。

## 2. 公式ワナゲ講習会

研修会の第2部は、公式ワナゲ講習会。出席会長等約80名が参加し、約1時間30分間、講習会とワナゲの実技を行いました。

西尾和久講師（フレンドリー情報センター）は、関西人特有の軽妙なトークと分かりやすい説明で、公式ワナゲ講習会を進めました。

始めに、参加者が公式ワナゲ経験のないことを確認され、その上で西尾講師は、初心者向けに「公式ワナゲとは・競技の種類・得点の数え方等」を説明しました。

### ◇準備体操

十分な時間を掛けて準備体操を行いました。特に、猫背の方には、軽妙なトークで背骨を延ばす指導を十分行いました。

### ◇輪の投げ方

経験のない方を数名選抜し、輪の投げ方を伝授。近距離でも、初心者の輪は中々、的に入らないものです。

### ◇体験練習とワナゲのミニ大会

参加者80名を10組に分け、投てきの練習です。



そのあと、ミニ大会を実施しました。高齢にも拘わらず、参加者は輪投げに夢中です。あっという間に、予定の40分が経過しました。参加者は皆、このゲームに満足されたようです。

### ◆閉会のことば

納美恵子県老連理事の閉会の言葉を以て、研修会は無事、修了した。

越谷市 北山 隆司

令和5年度  
市区町村老人クラブ連合会会長研修会

令和5年10月18日(水)午後12時30分より「彩の国すこやかプラザ」の2階セミナーホールにて、「令和5年度市区町村老人クラブ連合会会長研修会」が会長・事務局職員約70名の出席で開催された。

1 開会式

司会は落合一弘県老連事務局長が担当。玉水きみ子県老連副会長の開会の言葉。続いて、主催者を代表して、内田まさ子県老連会長の挨拶で開会式は終了。



2 「会員増強の手引き」を活用  
「年間1単位クラブ純増2名プラン」について



◆椎名久美子県老連主幹より詳細な説明がなされました。「この教本を学習し、地域に合うように工夫が必要」

3 事例発表①

「仲間をふやそう」



熊谷市長寿クラブ連合会 会長 藤野 銀三氏

◆他団体との協賛・地域3世代交流を通して、仲間を増やしていきたい。高齢者の考え方は時代によって変わってきているので、それに合わせた会員増強が必要である。

4 事例発表②

「会員増強の取り組みについて」



加須市北川辺地域 老人クラブ連合会 会長 佐藤 勝男氏

◆老人会の宣伝に単位クラブが独自で、クラブ活動風景の載っているポスターをカラーで作成した。それを持って、地元の有力者と一緒に個別訪問で全戸に配布したら加入者が増えた。

5 事例発表③

「会員増強の取り組みについて」



さいたま市老人クラブ連合会副会長 矢部 利夫氏

◆さいたま市老人クラブ連合会では、「会員増強委員会」を設立。組織で取り組んだ。成果は、10区中3区にて増員が見られ、例年約千名の減少の歯止めと成った。

6 事例発表④

「会員増強運動の取り組み報告」



川口老人クラブ連合会 会長 岩澤 勝徳氏

◆多世代より、求められる活動。求められる場所(会場)で活動。さらに、宣伝広報活動にも励んでいる。

7 質疑応答

活発な質問があり、発表者がその都度丁寧に説明していた。



8 総括

品川惣壽県老連副会長より総括があった。



- ①地域の実情に基づいた活動が必要。
  - ②会員増強するには会長の人柄も大切なことです。
  - ③垣根を越えたクラブ活動を楽しくやってみる。
  - ④発想を変えて、地域を元気にすることが大切。
- (年会費を無料で会員を募集した)

9 閉会

谷合傳治県老連副会長の閉会の挨拶で、この研修会は終了。

川越市 小林 松十郎

お医者さんに行くべきか迷ったら、まず相談!!



# 埼玉県 救急相談

24時間  
相談対応  
年中無休

ダイヤル回線・IP電話・PHS・都県境の地域でご利用の場合は **048-824-4199**

# # 7 1 1 9

を押す

音声案内 (ガイダンス) が流れます



1

を押す

小児救急  
電話相談

対象：中学生まで



2

を押す

大人の救急  
電話相談



3

を押す

医療機関  
案内

小児・大人に対応



チャットで気軽に相談

AI 救急相談

埼玉県 AI救急相談

検索



❗ 下記のような相談はお受けできません  
医薬品の使用方法などの相談・病気の治療方針の相談・  
健康相談・介護相談・育児相談・身の上相談

❗ 救急電話相談、及びAI救急相談のアドバイスは、相談者の判断の参考としていただくもので  
医療行為ではありません。あらかじめご理解のうえ、ご利用ください。

緊急時はすぐに  
119番で  
救急車を呼びましょう!



お問合せ先 | 埼玉県保健医療部 医療整備課 TEL:048-830-3559 FAX:048-830-4802

協力機関 | 一般社団法人 埼玉県医師会・公益社団法人 埼玉県看護協会・県内医療機関

埼玉県マスコット  
コバトン  
さいたまっちょ



彩の国  
埼玉県

さいたま市老連緑区

## 「さわやかクラブ第2」の会員増強報告

当クラブは、米岡淳夫会長を中心にカラオケ、サロン、グラウンドゴルフ等で新会員の勧誘を行い、18名の新会員を迎えることが出来ました。当クラブの編成は、それぞれの生活圏に合わせて、和田地区16名、和田地区二3名、会の谷地区25名、水深地区7名、内谷地区21名、合計72名となりました。

### 加入実績報告

#### ①会の谷地区 7名

当地区の会梅自治会館に設置されている「カラオケセット」を無料で活用し、昔の歌声喫茶店の様に皆で合唱を行ったり、「サロン」と称して、ビンゴゲームをしたり笑いを誘い、その場でシニアクラブへの勧誘を行っています。

#### ②内谷地区 11名

- ① 当地区の声かけは  
近くに住んでいる友達3人にお願ひしたら、心良く受けてくれました。
- ② グラウンドゴルフの練習前の短い時間にいつも公園の小さ

いベンチに譲り合って座って話に花が咲きます。その時さりげなく「誰か老人クラブに入らない？」と誘ったら、7名の方が快く、入会を決めてくれました。自分もビックリあわててお礼のハグをしました。

③ クラブを脱会した人がいるとの情報があればすぐに電話で勧誘。

「内谷地区は、女性ばかりなので、一緒に手伝って下さい」と、お願ひしたら、承諾して頂き、初の男性会員を迎えることが出来ました。これを機会に男性に声を掛けやすくなりました。また、新しい会員の皆様に楽しい経験をしてもらうことが出来ました。

### 新しい事業の実施

- ① 県老連のワナゲ普及会に参加
  - ① 田中道子先生の健康体操教室
  - ③ 西尾講師を招いてのワナゲ教室
  - ② 芸能大会 等。
- それぞれに参加して、楽しい老

人クラブをアピールしやすくなったと思います。

「皆で頑張るぞ!!」



さいたま市 納 美恵子

## 編集後記

令和5年の夏は、各地で異常気象の線状降水帯などによる被害が多々聞かれます。被害に遭われた皆さまに心よりお見舞申し上げます。

近年気象庁の予報は大変詳しくわかり易く発表される様になったと感じています。

地球規模の気温上昇、海水温の上昇は、危険な暑さとなり、私達の活動にも十分の注意が必要かと思ひます。

先日、県老連では恒例のシルバースポーツ大会が開催されました。1300人の参加があり、楽しさが満ちあふれていました。大会の6種目は、高齢者が楽しむスポーツです。会員外の皆さまにも、いち推しのスポーツと思ひます。

戸田市 石川 みよ子

「彩愛クラブ埼玉」は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

